

第 1 回北九州市スポーツ推進計画策定検討会 会議録

開催日時	令和 6 年 7 月 5 日 (金) (午前) 午後 9 時 30 分 開会 (午前) 午後 11 時 30 分 閉会
開催場所	北九州市役所 3 階特別会議室 A
委員 (◎:座長)	有延 忠剛 (北九州市障害者スポーツセンター所長) 池元 友樹 (北九州市スポーツ大使) 梶山 幹子 (北九州市小学校体育連盟) 倉崎 信子 (九州栄養福祉大学教授) ※園田 美恵子 (公益財団法人北九州市スポーツ協会事業係長) 花内 誠 (九州産業大学教授) ◎船津 京太郎 (九州共立大学教授) 松崎 淳 (九州共立大学講師) ※: 久澄委員 (欠席) の代理
欠席者	久澄 喜裕 (公益財団法人北九州市スポーツ協会事務局長)
事務局	都市ブランド創造局 局長 井上 スポーツ部 部長 濱田 スポーツ振興課 課長 大江 スポーツ施設担当 課長 川合 企画係 係長 末永 係員 梶谷
開催形態	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 / <input type="checkbox"/> 非公開
議題	北九州市スポーツ推進計画の骨子案について
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第 1 回北九州市スポーツ推進計画策定検討会次第 ○ 北九州市スポーツ推進計画策定検討会委員名簿 ○ 北九州市スポーツ推進計画策定検討会配席表 ○ 資料 1 前計画の概要と振り返り ○ 資料 2 北九州市基本構想・基本計画 (新ビジョン) と 北九州市スポーツ推進計画との関連 ○ 資料 3 北九州市スポーツ推進計画の骨子案 ○ 北九州市スポーツ推進計画策定検討会開催予定等 ○ 参考資料 <ul style="list-style-type: none"> ● 参考 1 第 3 期スポーツ基本計画 (スポーツ庁策定) の概要 ● 参考 2 北九州市基本構想・基本計画 ● 参考 3 北九州市スポーツ振興計画 [改訂版] ● 参考 4 令和 4 年度北九州市民スポーツ実態調査報告書

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>■開会のあいさつ</p> <p>北九州市では、平成28年に「北九州市スポーツ振興計画」を改定し、スポーツ振興に取り組んできた。令和4年度をもって計画期間は終了したが、市長が交代したほか、令和6年3月に、新たに「北九州市基本構想・基本計画（「新ビジョン」）」を策定したこともあり、「北九州市スポーツ振興計画」についても、新ビジョンの方針を踏まえリニューアルしたいと考えている。</p> <p>スポーツは、心身の健康やチームワーク、賑わい創出など、我々の生活に欠かせない要素になっている。今後、北九州市において、どのようにスポーツ推進に取り組んでいくべきかを示すのが本計画であり、本市のスポーツを支えて頂いている各委員に忌憚なく意見いただき、検討に反映させたい。</p>
事務局	<p>【委員名簿に基づき各委員の紹介】</p>
事務局	<p>■座長の選任</p> <p>【船津委員への座長委嘱について異議なし】</p>
船津委員 (座長)	<p>平成28年度に「北九州市スポーツ振興計画」を見直して以降、スポーツを取り巻く環境は大いに变化した。これらの環境・社会情勢の変化に見合ったスポーツ振興施策を検討したい。</p>
事務局	<p>■北九州市スポーツ推進計画の骨子案について</p> <p>【資料1、資料2、及び、資料3に基づいて説明】</p>
船津委員 (座長)	<p>資料3における方針Ⅰの内容について委員より意見を求める。</p>
花内委員	<p>ⅠからⅢの各方針の連動について記載を加えた方がよいのではないか。方針1の「スポーツで稼げるまち」と表現が、スポーツ界からみると、違和感を覚える可能性がある。</p> <p>「稼げるまち」のコンセプト自体は、新ビジョンと連動したものであるが、市民の中には、新たに策定される北九州市スポーツ推進計画の内容のみを参照される方も多数いる。方針1で埋めれた「稼ぎ」が、方針2や3の施策展開に還元・循環される形を示してほしい。</p>
事務局	<p>「新ビジョン」においても、「稼げるまち」がエンジンとなって、「彩るまち」「安らぐまち」の実現を生む好循環を創出するコンセプトとしている。</p> <p>本計画においても同様に、スポーツによって生まれた「稼ぎ」が、これまで本市が取り組んできたスポーツ振興の中核的な施策方針や、未来の子ども達のために投資・還元されるという姿を示したい。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
有延委員	北九州市では、他の政策分野においても「稼げる」というコンセプトが共通しているのか。
事務局	<p>「稼げるまち」が軸となり、「彩りあるまち」や「安らぐまち」の実現につながるという考え方は、すべての政策分野に共通して表現されているものではないが、スポーツや文化、観光分野においては、まちの魅力向上や、にぎわい創出のエンジンとなり、「稼ぐ」思想で施策の発展に取り組むことは共通するところがある。</p> <p>スポーツでは、近年注目される国際的なスポーツ大会の誘致等を通じたまちづくりや都市の魅力向上という点で、「稼ぐ」との親和性があり、本計画において重視する視点として盛り込んだ。</p>
有延委員	元来のスポーツの意義を踏まえ、市が抱える課題へのアプローチを第一とし、「稼ぐ」視点の優先度を落とした方が良いのではないかと。
事務局	本来は方針Ⅲに位置づけていたが、「新ビジョン」と同様に、スポーツで「稼げるまち」をを目指していく視点を重視する方向性が優先され、方針Ⅰに位置づけた経緯がある。
花内委員	<p>「稼ぐ」ことを通じたまちづくりのベクトルを、企業、団体、市民といった関係者間と共有することで、理解を得る必要がある。</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、過去最大の収益を上げ、「稼ぐ」視点では成功したスポーツイベントとなったが、国民から大きな批判を浴びた。</p> <p>市民・企業・団体との調和や共感を得るため、「稼ぎ」がまちに還元される視点が必要である。</p>
事務局	ご指摘を踏まえ検討する。
松崎委員	<p>方針Ⅱでは「女性」や「インクルーシブ」、方針Ⅲでは「こども」というキーワードがみられる一方、北九州市では、世界水泳や、「マイナビツール・ド・九州」、ホストタウン事業など、世界的なスポーツイベント誘致実績を有する都市であるのだから、国際性を感じられるキーワードを方針Ⅰに追記してはどうか。</p> <p>国際スポーツ大会の開催実績について市HPに取りまとめられていたが、平成27年から令和5年まで、毎年国際レベルの大会誘致実績がみられた。これらを一過性の誘致にとどまらず、まちづくりの観点から国際性の発信を組み込み、レガシーとして継承する必要がある。</p>
事務局	施策1の③にて、「大規模スポーツ大会等の誘致・開催支援」と記載しているが、書きぶりが不十分だったと考える。ここ数年、国際的な大規模スポーツイベントの継続誘致に成功していることから、国際性を感じられるキーワードを組み込みたい。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
船津委員 (座長)	<p>方針の全体のつながりを考えることは非常に重要である。各方針における「関連ワード」が、どの施策に反映されているのか明示が必要であるし、その観点からの「関連ワード」の再考も必要ではないか。</p> <p>例えば、方針Ⅰの「関連ワード」に、「スポーツコミッション」とあるが、具体的にどの施策に反映されているのか。</p>
事務局	<p>北九州市が現在検討するスポーツコミッション構想では、市内の様々なスポーツシーンと観光・文化資源を掛けあわせたうえで、スポーツの新たな価値や魅力を創出する仕組みづくりを推進したいと考えている。</p> <p>主に施策Ⅰの「②スポーツによるまちの活性化の推進」、及び、「④スポーツツーリズムの推進」と連動すると考えている。</p> <p>新規の取組として、市を代表するプロスポーツチームである「ギラヴァンツ北九州」が、さらにより多くの市民に愛されるチームとなることを支援するため、今年度より、高齢者施設と連携したサポーター事業や、小学校訪問や大学生の試合招待など、こども・若者世代へも事業を展開している。</p>
池元委員	<p>「ギラヴァンツ北九州」の事業として、スクール・教室事業を通じて小学生世代へはリーチできていると考えているが、中高生へのアプローチが不十分で、U15～U18世代との関わりが薄い印象だ。プロスポーツチームとの連携を通じてどのようなことができるのか考えたい。</p>
事務局	<p>これまでリーチが薄かった年代層へのアプローチは強化したいと考えている。特に、施策Ⅰの⑧「プロスポーツチーム等との連携による地域活性化」については、「地域活性化」という一般的な表現に逃げずに、より具体性のある表現を再考したい。</p>
園田委員	<p>方針Ⅰの各施策を実現するための施設・環境が、社会体育施設以外になっている傾向にある。</p> <p>また、市内で大規模な大会を開催しても、認知度が低く、福岡市に印象の面で劣後している印象がある。スポーツイベントを契機に市内を来訪された方が、そのまま市内に滞在いただけるような観光資源、魅力発信に乏しいことが懸念される。</p> <p>⑦「興行ニーズに対応した開催環境づくり」とあるが、具体的にどのような開催環境づくりを想定しているか。</p>
事務局	<p>バレーボールやバスケットなど、アリーナ系スポーツが盛んとなる中、新たな受け皿としての多機能・都市型のスポーツ施設整備の必要性も含め、環境づくりの必要性について検討することを示している。</p> <p>先日開催されたバレーボール・ネーションズリーグでは、西日本総合展示場を会場としたが、新館である南館をメインベニューとし、旧館はメディアセンターや練習場とする運用とした。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局 (続)	<p>新館は、スポーツ興行のための諸室・設備が整っており、興行ニーズの受け皿として機能した。この点も踏まえ、今後のスポーツ興行ニーズを見据えた環境整備が必要との指摘が先の6月議会で挙げられた。</p> <p>宿泊環境についても、当初千葉開催予定だったところ、急遽北九州での開催となったにもかかわらず、調整の末、小倉駅直結のホテルの全面的な協力を得ることができた。駅から近くにベニュー施設や宿泊環境があることは魅力である。このポテンシャルを最大化させるために、ホテル誘致・整備も含め、多面的なまちづくりが必要である。「スポーツで稼ぐ」姿を見せることで、民間の力も活用した活性化が必要との認識を高めていく必要がある。</p>
園田委員	<p>大規模な動員が発生する大会を開催する際、例えば、北九州市総合体育館では、公共交通機関によるアクセスが難しい立地のため、来訪者用の駐車場収容が大きな課題となっている。</p> <p>主催者によっては、バスのピストン輸送や公共交通機関利用を促しているが、近隣住民からの苦情の声は大きく、大規模興行時における都市環境改善は喫緊の課題である。</p>
事務局	<p>⑦「興行ニーズに対応した開催環境づくり」との表現はそのままとするが、ご意見を踏まえた対策を検討したい。</p>
有延委員	<p>北九州市では「北九州チャンピオンズカップ国際車いすバスケットボール大会」を毎年開催しており、今年で21年目となっている。</p> <p>施策1に「スポーツを通じた都市ブランド力の向上」とあるが、ここに、パラスポーツ（障害者スポーツ）が醸し出されるとよい。現時点では、施策の表現からは感じ取りにくい。</p> <p>市内にも電動車椅子サッカーチーム（PFC COSMO北九州）が活動しており、「ユニバーサルスポーツ」を通じた都市ブランドの向上が伝わる表現を検討いただきたい。</p>
事務局	<p>素案を掘り下げの中で検討したい。</p>
船津委員 (座長)	<p>方針Ⅱの「考え方」に、「ウェルビーイング」の語を利用しているが、考え方を統一したい。</p>
事務局	<p>心も体も健康で、社会的にも満たされた、豊かな状態が「ウェルビーイング」であると認識して用いている。</p>
倉崎委員	<p>学校体育施設の有効活用促進は、運用面で様々な課題があると認識している。</p> <p>また、「ギラヴァンツ北九州」の事業展開において、小学校や高齢者へのリーチについて話題が上がったが、中高生や大学生もプロスポーツチームとの触れ合いの場があるとよい。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
倉崎委員 (続)	市内大学の中には、大学規模が小さいがゆえに、サークル等で身体を動かす機会も、授業業の合間の練習など、限定的となっている。一方で、一度活動を始めると生徒の向上心も沸く中で、プロの方との触れ合いの機会があると、より専門的な活動への関心が高まり、サークル活動の質も本格化する効果が期待できる。
事務局	<p>民間や大学スポーツ施設の有効活用は、かねてから課題認識として認識期している。小中学校の体育施設を含め、市内の様々なスポーツ環境との連携は引き続き模索したい。</p> <p>以前、北九州市総合体育館が利用できず、代替地として九州共立大の体育館を借りた事例もある。代表キャンプ誘致の際に利用した事例もあり、大学との連携はさらに推進したいと考えている。</p>
花内委員	<p>大学や民間など、市内の関係団体と連携し、スポーツ施策を展開する構想はあるのか。以前、他自治体のスポーツコミッションの設立に関与した経験から、スポーツコミッションは、スポーツツーリズムの団体になりがちであると認識した。</p> <p>スポーツコミッションには様々な形態が考えられる。複数のプロチームのある自治体が、プロチーム同士の連携を図るための組織として位置づけられているものや、多様なスポーツを推進するための産官学民連携組織としてのスポーツコミッションもある。</p> <p>北九州市においてどのような方向性のスポーツコミッションを目指すかによるが、市を代表とする「ギラヴァンツ北九州」のようなプロスポーツチームを核となるコンテンツとしつつ、プロスポーツチームが公共的な側面に関与できる組織体として運用することも考えられる。国内のJリーグのチームには、クラブチームとしては株式会社が運営し、公益事業は新たに社団法人を設立して展開しているチームがみられる。</p> <p>加えて、市内のプロスポーツチームが、ウェルビーイングやこども・地域スポーツへのアプローチなど、方針ⅡやⅢに関与できる可能性を示した方が良いのではないかと。</p>
事務局	ご指摘の点を踏まえた検討を進めたい。
船津委員 (座長)	続いて、方針Ⅱの内容について、委員より意見を求める。
松崎委員	「インクルーシブスポーツ」という表現はオーソライズされつつある。類義語に「アダプテッドスポーツ」があるが、これは、「インクルーシブスポーツ」の中のプロダクトとして位置づけられるため、政策方針上は、「インクルーシブスポーツ」の表現でよいと考える。
園田委員	施策3の「④公園など身近な運動の場の提供」とあるが、公園内における身近な健康器具の整備・充実等を指したものか。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>その点も包含されているが、日常生活において、スポーツに全くになじみのない市民の方も、ふらっと立ち寄った公園で少し体を動かせるような空間のデザインを工夫したいとの意図である。</p> <p>この度、パルクールの世界選手権の誘致に成功したが、全国的に、3on3やブレイキンといった、「アーバンスポーツ」と言われる、まちなかのスポーツの人気も高まりつつある。今後、人口減少社会において、スポーツ施設の拡充は難しい時代に突入する中では、スポーツ施設以外の街中のスポーツ環境の充実が求められている。</p>
船津委員 (座長)	<p>方針Ⅰの「関連ワード」に「アーバンスポーツ」とあるため、冒頭での指摘の通り、方針Ⅰ～Ⅲの連動を表現する必要性が一層ある。</p>
松崎委員	<p>運動・スポーツが苦手な方にとっては、スポーツ施設や身体を自由に動かせる場所に足を運ぶこと自体のハードルが高い。</p> <p>北九州市は駐車場が比較的多い都市であるようだ。市内の既存施設を有効活用し、「オープンスペース」を活用したスポーツ環境の提供の視点を追記した方が、北九州らしさが出るのではないか。</p>
事務局	<p>施策3の「⑤官民連携によるスポーツ環境の創出」では、民間の既存施設の活用の拡充を含んでおり、「オープンスペース」の活用について間接的に触れている。</p> <p>施策3の④及び⑤を通じ、「どこでも」スポーツに親しめるような環境づくりを進めたいと考えている。</p> <p>「北九州市基本計画」において、ウォーカブルなまちづくりを標榜している。スポーツ実施率に関する調査から、市民の多くがウォーキングに親しんでいることがわかっており、より快適に歩ける場・空間の整備の点も含めたい。</p>
船津委員 (座長)	<p>続いて、方針Ⅲの内容について、委員より意見を求める。</p>
梶山委員	<p>「する」機会の観点からは、小学校体育連盟が主体となり、全市の子どもたちに楽しい体育科の学習を提供できるように、好きっちゃプログラムを作成し、体力向上をめざしている。</p> <p>こどもにとっては、「みる」スポーツ機会も重要で、車いすバスケットボールや世界体操などの観戦体験は貴重である。また、市ゆかりのアスリートと触れ合う機会も、こどもにとって良い機会である。</p> <p>小学校の体育施設は、17～19時までにはスポーツ少年団に開放し、19時以降は社会人に開放している。地域のスポーツニーズに受け皿として応えていきたい。</p> <p>学生が子どもたちと一緒に遊ぶことで、体力の向上につながるという研究もあり、大学との連携がさらに図れるとよいのではないか。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
梶山委員 (続)	<p>九州女子大学の取組として、教師を目指す学生が、学習支援だけでなく、昼休みにこどもの遊び相手にもなるなど、こどもがより主体的に身体を動かすことに寄与していると思う（「グリーンティーチャー」）。</p> <p>学校施設だけではなく、民間企業が保有する施設の有効活用も促されたい。近隣自治体の某企業では、体育館をクラブチームに開放している事例があると聞いた。</p>
船津委員 (座長)	<p>方針Ⅰ、Ⅱは、昨今のスポーツを取り巻く情勢や環境の変化を感じさせる内容であるが、方針Ⅲの表現は、従前の内容からの目新しさを感じない。各委員から得られた意見を踏まえ、表現等を工夫できないか。</p>
有延委員	<p>パラスポーツ（障害者スポーツ）が各方針・施策に包含されていると捉えることは可能だが、一読して、パラスポーツ（障害者スポーツ）推進施策を想起できる表現になっていない。</p> <p>例えば、施策5の「①スポーツ推進委員・スポーツ指導者の育成・活用及び資質向上」に、「パラスポーツ指導者」の文言を追加願いたい。日本パラスポーツ協会でも、初級パラスポーツ指導員の育成を強化しており、北九州市障害者スポーツ協会でも、講習会を継続実施中である。市方針としても表に見える形で表現を検討してほしい。</p>
事務局	<p>昨年度、パラ卓球の普及育成拠点（計4ヶ所）一つに北九州市が選ばれ、北九州市障害者スポーツセンターにて、第2・第4土曜日に、専門の指導者のもと取組を進める環境が整った。先日は宮崎義仁専務理事が視察のために来訪された。パラスポーツは重要な視点と認識しており、明記したい。</p>
事務局	<p>方針Ⅲでは、未来をささえるこどもや若者、及び、指導者等の「ささえる」人材に焦点を置いている。特に、将来世代であるこども・若者を応援することを重視しており、市長も、「日本一若者を応援できるまち」を標榜している。スポーツにおいても同様に子ども・若者への支援の観点から施策を充実させたい。</p>
船津委員 (座長)	<p>学校部活動の地域移行への対応が課題である。九州共立大学ではスポーツ学部を有しており、指導者派遣の依頼を多く受けている。一方、指導者の派遣だけでは地域の問題は解決しない。目下、学生も授業や部活で多忙の中では、指導者派遣要請に供給が追い付かない現状だ。</p> <p>したがって、施策5の「③大学等との連携による地域スポーツを担う人材の拡充・支援」には、ぜひ「育成」の文言も追加願いたい。</p> <p>一例として、大阪体育大学では独自の部活動指導員カリキュラム（「運動部活動指導認定プログラム」）を組成し、独自の資格を発行し、地域スポーツ指導者の育成・派遣に貢献している（桐蔭横浜大学でも同様の取組事例あり）。地域部活動の指導者においては、指導者の質の担保が重要となる中、参考となる取組である。</p> <p>大学として派遣協力するものの、育成を主眼に置かなければ、地域スポ</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>一つのニーズに間に合わない可能性がある。</p> <p>ご指摘を踏まえて素案の内容を検討したい。</p>
船津座長	<p>次に、骨子案の全体の内容について、意見を求める。</p>
有延委員	<p>本計画では、個別具体の事業について言及しないとのことだが、「絵に描いた餅」にならないようにするための考えはあるか。</p>
事務局	<p>本計画で示すスポーツ推進の方向性に合致しつつ、かつ、時代・情勢にふさわしい事業を柔軟に展開したいと考えている。</p> <p>一方、適切な進捗・成果管理の観点から、前計画のように一定の成果指標は定めたいと考えているが、適切な目標指標について委員の意見を求めたいと考えている。</p>
松崎委員	<p>「目指す姿」に合致する形で方針が定められているものと理解する。うち、方針Ⅰ、Ⅱは、「目指す姿」との連動を確認しやすかったが、方針Ⅲと「目指す姿」との連動性について十分に理解できなかった。事務局の考えを伺いたい。</p>
事務局	<p>方針Ⅲでは、こどもにターゲットを置いたものとなっている。人口減少社会においては、競技人口も当然減少する中、持続可能性を高めたいと考えている。こども達が小さいころからスポーツに親しむ機会を提供し、将来のスポーツを担う世代の育成につなげ、北九州市における持続可能なスポーツ社会の実現につなげたいと考えており、結果的に、「目指す姿」の全体に網羅され、特に、「未来輝く市民生活と連動する関係性にある」とご認識いただきたい。</p>
船場委員 (座長)	<p>■ 次回検討会における審議事項及び今後の検討プロセスについて</p> <p>今回の意見を踏まえ、次回検討会までに事務局にて素案を作成し、それを基に次回委員会にて意見交換を行うこととする。</p>
事務局	<p>次回の検討会は8月23日(金)14:30より、同会議場で開催を予定している。その後、9月頃に教育委員会会議、及び、常任委員会にて素案内容を報告のうえ、10月頃にパブリックコメントを実施する。</p> <p>その内容を踏まえ、11月下旬に第3回検討会開催し、12月に常任委員会にて最終案を報告し、3月議会にて確定とする予定である。</p> <p>本日頂戴した語ご意見を踏まえ事務局にて骨子を固め、具体的な素案の作成に移るが、状況に応じ、個別に委員に意見を伺う場合があるため、ご協力頂きたい。</p> <p>なお、本日の謝礼等の振込は、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社より、指定口座へお振込みする。(以上、閉会)</p>